日時	平成 30 年 12 月 20 日(木) 15 時 40 分から 16 時 20 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	(1) 光が丘図書館(以下「光」)管理係長、運営調整係長・係員(2) 事業統括係長、子供事業統括係長光が丘図書館長は欠席(2) 関町図書館指定管理者(株式会社図書館流通センター)(以下「関」)関町図書館長、同館業務従事者(2) 本社スタッフ(2)
内容	施設管理について (光)大雪対策について (関)積雪予報があった時は翌朝の人員配置を近隣のスタッフに変更し、開館に支障がないように努めている。昨年度の大雪時は、大型スコップと融雪剤を準備して対応した。 (光)階段入口付近の水漏れについて (関)29年度の夏に発生したものである。階段入口の天井の空調の吹出し口から出る冷気が手前の防炎垂れ壁にぶつかり、水滴が落ちる状態だった。施工業者に対応をしていただいたため、今年の夏はかなり改善をした。今後も注視していく。 職員体制について (光)接遇研修の実施について (関)今年度は8月に館内で接遇研修を実施し、スタッフの接遇スキル向上を図った。
	一般事業について (光)11月の「練馬区立はつらつセンター関への団体貸出」について (関)29年11月から団体貸出を開始し、今年度は5月、8月、11月と3回目の団体貸出しとなる。資料が持ち出し不可であることが浸透していないためか、資料の紛失が続いているため、関町図書館の団体貸出資料であることが一目でわかるように、表示を整えた。(光)次回2月の団体貸出の際も紛失が続いていた場合は、団体貸出の継続を検討する。(光)10月実施の「はじめての点字体験」について (関)気軽に参加できるよう、当日受付で30分間の点字体験を4回実施した。講師は区内の小学校で点字体験教室の先生として活躍されている方にお願いした。小学生の参加が多く、家族連れでの参加もあり、障害者サービスに興味を持っていただくことができた。(光)館内の手摺り等の点字に触れて読んでみるという体験も良いのではないか。(関)次回の事業実施時に取り入れていきたい。
	児童・青少年サービス事業について (光)11月実施の「図書館利用者向け託児サービス <4回目>」について (関)人気があり、毎回すぐに定員に達するが、当日の子供の体調によるキャンセルが 多い。月齢に合わせて保育士の人数を手配するため、当日キャンセルで空いた枠への臨機

応変な対応が難しく、課題と考えている。11月は、通常の「図書館利用者向け託児サービス」とは別枠で、「関町図書館暮らしの講座」の参加者を対象とした「図書館イベント参加者向け託児サービス」も行った。

- (光)学校支援員による読書旬間の取組について
 - (関)小学校は、図書委員が中心となってスタンプラリー、読書ビンゴに取組み、支援 員は、準備と当日活動の支援を行った。石神井西中は、委員会が主体となり、本を多く読 んだ生徒の表彰を行った。館内展示は、先生の幅広いジャンルの読書を推進したいという 意向で、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋とテーマを分けて行った。景品はボランティ アと委員会が作成したしおりのほか、スタンプの数によって通常の貸出冊数より1冊多く 借りられるカードを作成した。
- (光)「第2回 関町図書館 図書館を使った調べる学習コンクール」について
 - (関)小学生から9作品の応募があり、入賞は3作品となった。支援校全校に対して、 夏休み前に応募のご案内をさせていただいている。
 - (光)近隣の高校へもお話をしていただけるとありがたい。
 - (関)承知した。

その他

- (光)11月のサービス向上の取組「ブックポストへの防音クッション設置」について (関)利用者アンケートにブックポストの蓋の開閉音が響いているとご意見をいただき、 すぐに対応をした。
- (光)11月の利用者等への公平公正な対応「テラス出入口スロープ取付」について (関)避難訓練の際に、スタッフが避難経路のテラス出入口に段差があることに気付き、 ベビーカーや車いすでも出入りしやすいようスロープを設置した。
- (光)10月の苦情等の「飲食コーナーの使用」について
 - (関)利用者アンケートでも飲食しない場合も席を開放してほしいというご意見がかなりあったが、昨年度は、飲食に使えないので何とかしてほしいという逆の意見が多かった。 コーナーの設置趣旨から、飲食専用でお使いいただくのが良いと考えている。
- (光)11月の苦情等の「離席中の席に配付する紙」について
 - (関) 1 時間おきに館内を巡回し、離席中の席に紙を配付している。次の巡回時に紙が 置かれたままの場合に、長時間の離席と判断をしている。今回は、配付された紙を見て、 注意されたと思われ苦情となったため、文言の見直しをしている。
- (光)11月開催の「利用者懇談会」について
 - (関)昨年度は開館初年度のため再開館に関するご意見が多かったが、今年度は、関係 団体の方からのご意見が中心となった。一般利用者の参加者は、武蔵野市の図書館と関町 図書館の両方をご利用いただいている方が多く、建設的なご意見をいただけた。
- (光)11月実施の「利用者アンケート」について
 - (関)総合的な満足度が昨年度より高く、自由意見欄も好意的な意見が見られることから、地域の方に図書館が受け入れられてきていると考えている。職員の応対についても好意的な評価をいただき、励みになっている。